

2006年 福島から「フラガール」、2008年 山形から「おくりびと」
そして、2010年 福岡から名作映画が誕生!



あの頃、誰もが
生懸命でまっすぐだった。

炭坑町のセレナーデ

監督: 平山秀幸 脚本: 鄭義信 原作: 辻内智貴「信さん」(小学館刊)

小雪 池松壮亮 石田卓也 柄本時生 小林廉 中村大地 金澤美穂 光石研 村上淳 中尾ミエ 岸部一徳 大竹しのぶ



福岡県の地元各地で撮影

福岡市・田川市・志免町・宗像市・北九州市・二丈町 ほか

出川先行上映会

日時：平成22年3月13日（土）

①13：00～上映・舞台あいさつ

②15：30～舞台あいさつ・上映

③18：00～上映

場所：田川文化センター

鑑賞券：1,500円（全国上映会共通鑑賞券）

問い合わせ：田川市総合政策課

TEL0947-44-2000（内線406）

福岡の有志の皆様へ 映画で地元を盛り上げよう

空も海も人間も、すべてが青かった。

福岡の炭坑町で、力強く逞しく生きる人々の〈魂の物語〉

飯塚市在住の作家・辻内智貴の小説「信さん」を、1997年「愛を乞うひと」で多くの映画賞を受賞した北九州市出身の監督・平山秀幸（「しゃべれども、しゃべれども」「学校の怪談」）が「人間をリアルに」と盟友である劇作家・鄭義信を脚本に迎え、福岡市出身のプロデューサー・藤田義則（「彼岸島」「未来予想図」「さくらん」）、撮影・町田博（「山のあなた～徳一の恋」「雪に願うこと」「風花」）はじめ多くの福岡出身のスタッフ達が参加し、福岡市・田川市・大牟田市・志免町をはじめオール九州ロケーションを敢行、エネルギー溢れる群像劇を作り上げた。物語の中心となる美智代には「ラストサムライ」で国際的な知名度を持ち「ALWAYS 三丁目の夕日」「カムイ外伝」と人気作への出演が続く小雪、美智代に恋する信さんに「ROOKIES-卒業-」ほか近年怒濤の出演作で実力を積む石田卓也、信さんの義母にはその豊かな表現力で圧倒的な存在感を見せる大竹しのぶと素晴らしい俳優陣が顔を揃えた。またキラキラと若者の輝きあふれる池松壮亮は福岡市出身、巧みな筑豊弁を使う個性派俳優光石研、人情味の中に哀愁を漂わせた名演が光る中尾ミエは北九州市出身と、地元映画に共感してひと肌脱いだ福岡にゆかりあるキャストの見事な演技もこの作品に血を通わせている。九州各地、数百人を超すオーディションから選ばれた子役たち、田川市、大牟田市、志免町をはじめ住民の皆様によるエキストラ参加と、地元の協力なくしてはなりえなかった「信さん・炭坑町のセレナーデ」がついに完成。福岡を愛する全ての人の熱き思いから骨太なヒューマンドラマが誕生した。

もう一度思い出してもらいたい。～毎日があつという間で必死だった、悲しみを乗り越える純粋さをもっていた～この映画の中にあの頃のあなたもきつというはず。

小雪 池松壮亮 石田卓也 柄本時生 小林廉 中村大地 金澤美穂
光石研 村上淳 中尾ミエ 岸部一徳 大竹しのぶ

監督：平山秀幸 脚本：鄭義信 原作：辻内智貴「信さん」(小学館刊)
プロデューサー：藤田義則/宮内眞吾 企画：近藤晋
撮影：町田博 照明：木村太朗 美術：安宅紀史 録音：小松哲人 編集：洲崎千恵子
音楽：安川午朗 制作プロダクション：フェローピクチャーズ
撮影協力：福岡市/田川市/大牟田市/志免町/二丈町/宗像市/宮若市
北九州市/長崎市/西海市/荒尾市/下関市
©「信さん・炭坑町のセレナーデ」製作委員会

カラー/ビスタ/ドルビーSR/108分 芸術文化振興基金助成事業

ストーリー

昭和38年、美智代は故郷である福岡の炭坑町に小学生の息子・守とともに帰ってきた。炭坑によって支えられ、男も女も子供たちも貧しくとも明るく肩を寄せ合つて暮らす町。ある日、悪ガキたちに囲まれた守の前に一人の少年が現れ、あざやかに相手を打ち負かし守を救ってくれる。町では知らぬものはいない札付きの少年・信さん。親を早くに亡くし、親戚にひきとられていた信さんは、いつも疎まれ厄介者のような扱いを受けていた。誰も自分のことなどわかってくれない、そう思ってきた信さんにとって、息子を守ってくれたこの事件を期にやさしく接してくれる美智代は特別な存在になる。それは母親への愛のようであり、淡い恋心のようであり...。けれど、信さんにもこの炭坑町にも、受け止め乗り越えなければいけない厳しい現実がすぐそばまで忍び寄っていた。



2010年5月“感動”の福岡先行ロードショー!

映画「信さん・炭坑町のセレナーデ」福岡公開実行委員会（ゴールドラッシュ・ピクチャーズ内） TEL 03-5428-6194 FAX 03-5761-8953